

行革元年

～財政再建団体に転落しないために～ No.3

保育所、幼稚園および養護老人ホームの経営の『あり方検討委員会』の答申およびこれに対する市としての基本的な考え方について

本市では、昨年3月に策定した行政改革大綱および集中改革プランに基づき、「民間でできることは民間で」という考え方に立って、定員割れが続く赤字経営が続いている市立の保育所、幼稚園および老人ホームの経営のあり方などについて見直しを進めてまいりました。

このたび、市長に対し、このことについて協議・検討していた2つの委員会から、次のとおり答申がなされました。ここでは、その答申の骨子と、これに対する市としての基本的な考え方についてお知らせします。

市内には、4施設の市立保育所、24施設の私立保育所(園)があり、1施設のへき地保育所が市(指定管理

保育所および幼稚園の状況

- ▼委員会の構成
学識代表、市立および私立保育園・幼稚園保護者代表、私立保育園・幼稚園経営者代表、公募委員など14名
- ▼開催回数等
平成19年8月3日～
12月7日まで 計9回



答申について市長と意見を交わす委員

南島原市幼児教育と経営のあり方検討委員会

市立の施設名	定員	通所(園)児数
西有家保育所	60	56
北有馬保育所	90	35
大江保育所	90	49
吉川保育所	45	26
(保育所)計	285	166
西有家幼稚園	80	23
北有馬幼稚園	80	47
(幼稚園)計	160	70

者制度) によって運営されています。また、幼稚園では、市立で2園、私立で4園が運営されています。このほか、市立で現在休園中の加津佐幼稚園、〇之津幼稚園があります。

① 幼児教育においては保育所、幼稚園ともに重要であるが、地域における幼稚園機能は不可欠である。また、福祉行政における幼稚園、教育行政における保育所など縦割り行政を超えた連携強化の取り組みが必要である。

② 地域における幼児保育(教育)施設の統廃合が必要である。すなわち、

- ・西有家地域においては、西有家保育所と西有家幼稚園を「認定こども園」として統合、または、西有家保育所を残し西有家幼稚園は廃止。

③ 今後の経営形態については、まず、統廃合等による経営改善効果を試算し、一部の施設だけでも公立で維持できないか検討すること。

④ その結果、市の行財政運営上必要とされる経営改善が望めない場合には、保育(教育)サービスを後退させないことなど一定条件を付したうえで、民間移譲もやむを得ない。

⑤ 保育所、幼稚園の経営形態の見直しによって捻出された財源については、可能な限り幼児福祉(教育)施策の増進に寄与するように配慮すべき。

⑥ 縦割り行政の弊害をなくすため、福祉保健部および教育委員会の「こども行政」関係部局を統合するよう検討を。

◎認定こども園とは
平成18年10月にスタートした制度で、保育所および幼稚園等における小学校就学前の子どもに対する保育および教育、並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を行う施設を言い、都道府県知事が条例に基づき認定します。親が働いている・いないにかかわらず利用できます。

子ども夢劇場 『3ちゅうベリーマッチ』



社会問題となっている子どもたちの「心の欠如」に対応し、心豊かに生き抜く力を身につけさせる取り組みの1つとして、市教育委員会は市内の各小学校を対象に、『子ども夢劇場』を開きました。物語は、塾通いに悩む少年が出会った3匹のねずみのお話。

ネコに捕まった仲間のねずみを助けようと『おまんじゅう』を伝説の『勇気の実』だと自分に言い聞かせて食べます。見事救出に成功したねずみたちを見て少年は考えます、「自分も変わるのだ」と。鑑賞した子どもたちの真っすぐな目は、しっかりと心に届いたことを告げていたようでした。

第26回西有家町みそ五郎まつり 川柳コンテスト受賞作品決まる

11月3・4日開催いたしました、みそ五郎まつりのイベント「川柳コンテスト」の作品を募集したところ、39点の作品展があり、まつり来場者の投票の結果優秀作品が決定しました。ご入選おめでとうございます。

順位	作品・作者
最優秀	学友(とも)と会い バッテンなまり 懐かしさ 山本 利男さん(東京都練馬区)
優秀	みそ五郎 ふんどししめて 頼んだよ (八町をよろしくネ) 高原 廣子さん(深江町)
優秀	西有家 幸運もたらす みそ五郎 小林 重雄さん(深江町)
入選	みそ五郎 まつり囃子に 町がわく 星 一平さん(長崎市家野町)
入選	町挙げて 祭りの主役 みそ五郎 佐原 太子さん(北有馬町)
入選	みそ五郎 年に一度に えびす顔 石橋 和子さん(西有家町)

あらためて交通安全 高齢者の交通安全講習会



年々増加傾向にある高齢者の交通事故を未然に防ぐことを目的に、11月25日南有馬運動公園グラウンドで「高齢者の交通安全講習会」が実施されました。

これは南島原市交通安全母の会が、長崎県および長崎県交通安全母の会連合会からの指定を受けて主催したもので、市内の高齢者61名が参加。歩行者講習や電動車いす講習、県警の模擬運転車キャッチ号を使用しての自動車運転講習などが行われました。

高齢者の皆さんは美しい秋空の下、それぞれの体験コースに参加し、交通安全について楽しく受講されました。

いい夫婦の日(11月22日)に 第2回 南島原市老人クラブ大会



メインテーマを『創造と連携の輪を広げて～心豊かな21世紀を』とした「南島原市老人クラブ大会」が11月22日ありえコレジヨホールであり、地域におけるクラブの役割と会員相互の連帯を確認しました。

大会では組織の発展に寄与したとして久保カズエさん(〇之津町)や会員の増えた単位クラブなどを表彰。またこの日は「いい(11)夫婦(22)の日」に当たり、松島市長から市内91組の金婚夫婦(結婚50周年)へ記念品を贈り、参加者で祝いました。本当におめでとうございます、そしていつまでもお幸せに。

明るい選挙啓発ポスター入賞作品

平成19年度明るい選挙啓発ポスターコンクールに、市内小中学校から多数の応募があり、市選挙管理委員会第1次審査を行い、10作品を選出し県で行われる第2次審査に応募しました。県内818点の応募作品の中で、本市有家小学校6年の松島未来さんと加津佐東小学校3年の酒井翔子さんの作品が優秀賞に選ばれました。



(長崎県優秀賞) 有家小学校6年 松島 未来さん (長崎県優秀賞) 加津佐東小学校3年 酒井 翔子さん